








# SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和元年11月28日

事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿		
SDGsをベースにしたESG経営を通して持続可能な地域社会の発展に寄与する。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
日々の運営を通じて「人を大切にしたい人づくり」と「環境課題の克服」に貢献できるよう活動をしていきます。		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
	「教育は貧困を遠ざける」という考えのもと、基礎知識から思考力を伴う問題まで幅広く学習指導を行ってきました。同時に「人間性の向上」にもあらゆる面から取り組んできました。	学研教室と共同で「幼児から高校3年生まで」と幅広い若者層に対して「未来の自分づくり」のお手伝いをしていきます。
	集団授業でのテスト・受験対策など塾生に対する学習指導を通じ確かな知識と思考力だけではなく、協調性・礼節・集中力・忍耐力・挑戦する勇気・自主性を育んできました。	今後、大学受験や英語教育など、公教育の場における大きな変化に対応した教育サービスを研究、提供していきます。
	女性の活躍の場を積極的に提供してきました。（独立した人事課の創設、女性役員の登用、学研教室とのコラボレーション、企業主導型保育園と提携）	引き続き学研教室とのコラボレーションをより多くの校舎で推し進める。また、女性の管理職を育成していく。
	働き方改革推進（勤務時間短縮・働き方の選択肢を増やす・新役職創設・勤怠管理を強化し残業時間削減など）	間接部門を中心に新たな部署を創設していく。
	紙の再利用（裏紙の積極的な使用）と、古紙のリサイクル活動	今後も限りある資源を大切に考えた「無駄を減らす、無くす経営」を推進していきます。
	電気・紙などの無駄な消費を削減（電気使用に関し職員と生徒に対しての啓蒙活動実施、テキストをできるだけ統一して個別に作成していた紙を使った資料を削減、使用量が少ない校舎に対して表彰制度）	今後も限りある資源を大切に考えた「無駄を減らす、無くす経営」を推進していきます。
	紙の削減（紙書類のデータ化推進、紙使用量の管理）	今後も限りある資源を大切に考えた「無駄を減らす、無くす経営」を推進していきます。（入塾書類の簡略化など）

事業所・団体名称	株式会社文理学院 令和元年11月28日現在 31校舎（2020年4月には33校舎展開） ※静岡市内には2019.12月より5校舎展開	
業種	11. 教育、学習支援業	
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長
	氏名	小倉 勤
所在地	〒422-8027 静岡市駿河区豊田1-1-37（代表者・担当者在籍場所）	
URL	<a href="https://www.bunrigakuin.com/">https://www.bunrigakuin.com/</a>	
従業員（構成員）数	男性 160人	女性 19人 計 179人